

第42回まなびや講座

日時 2019年3月10日(日) 1:30~4:30

会場 城沼公民館(館林市松原町 1-22-22)

佐野一行田線:レストラン・バーミヤン東、
<駐車場が満車の場合は、市役所南面駐車場をご利用ください>

資料代:1,000円

テーマ 「田中正造の教育と差別」—世間・被差別部落・ハン
セン病(癩病)観を考える

講師 板橋文夫さん(渡良瀬川研究会事務局長)

【要旨】

田中正造は戦前から「義人」「偉人」「正義の人」「巨人」「神人」等々仰ぎ見る人として尊敬されてきました。私の所属する渡良瀬川研究会会則は、目的として「田中正造および現代に続く足尾銅山鉱毒事件の研究を深め、その思想と運動を継承し、その普及を目指す」を掲げています。これは正造を敬仰するだけでなく、万人が必ずしも納得できない点をも含めて「人間としての田中正造」を学ぼうということです。今講座では、参加者の皆さまと「正造の人間観」を中心について考えたいと思います。

【講師概略】

栃木県小山市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了、東京学芸大学教育学部講師・東邦大学理学部教授。

『勤労青少年教育の終焉』(共著・随想舎)。主要論文「定時制・通信制高校準義務化の歴史的意義とその限界」、「足尾銅山鉱毒事件反対闘争と天皇制教育への抵抗」、「田中正造における青少年教育」、「田中正造の人権思想」等

主催 足尾鉱毒事件田中正造記念館 館林市大手町6-50 電話0276(75)8000

<開館 火・木・土・日曜日 10時~4時>